

---

# ノゾミノハテ

螺威

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ノゾミノハテ

### 【コード】

N1088C

### 【作者名】

螺威

### 【あらすじ】

幾百年願いをみてきたエルフの心境

願いと望みは同義語で、欲と願いは違つと。

なら、その判断はどこで？

でも、だから、故に、

そんな後付けの理由で何かを求め、願うのは罪か。

きつと罪ではないと、

きつと罪だろつと、

きれいごとと建前を照らし合わせて見つかったものはなく。

それを知る糧として与えられたのが、尽きることを知らない命。

見て来たものは、生き物の性。基本的欲求は勿論、それ以上の望み。  
楽したい

傷つきたい

謝りたい

欺きたい

苦しめたい

幸せにしたい

護りたい

目覚めたくない

死にたい

死にたいなら死ねばいいし、楽したいなら今努力すればいい。

護りたいなら死に物狂いで動けばいいし、傷つけたいなら嘘と演技を塗り固めればどうにかなる。

けれども、それらの上には誰かの妥協が絶対不可欠で、個人で成り立つものはない。

人を欺き、傷つけ、それを覚悟した上で自分の願いを叶える。

それだけで、願うのは罪。

同じ条件で何かを望み、同じ条件で願いを手にして

同じ条件で、罪になる。

そんな理由で何かを望み、求めるのは罪か。

“ ”

木の囁きが彼を呼んだ。

エルフの少年は淡色の夜空から視線を剥がし、呼び声の方を向いた。

声は、名を呼んだだけ。

その意味する所は、願う愚者の来訪を 伝える。

願いの果てを見て幾百年。

未だ答は見つけられず。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1088c/>

---

ノゾミノハテ

2011年1月11日15時17分発行